

【これまでの経過】

- ◆H28年度入所の施設や病院等からの送り手側の課題を、3障害(身体・知的・精神)ごとに抽出。
 - ・身体:「入所施設の支援者が知らない」という課題に対し、研修を行う形でH29年度ワーキングに移行。
 - ・知的:「家族の不安」という課題に対し、ワーキングにてパンフレットを作成。(H29年度ワーキング終了)
 - ・精神:「身元引受人」に関する課題に対し、研修を行う形でH29年度ワーキングに移行。

【今年度の方針】

障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築における「協議の場」として位置付け
地域生活を送るための協議検討を行う。

【具体的活動(取り組み)内容】

長岡市における障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた協議の場として…

- (1)「改めて地域生活を送るうえでどのような地域状況か」等、地域の現状確認を行う。
→精神科病院・障害者支援施設からの地域移行及び地域で暮らし続けるために何が必要か？
- (2)現状確認から見えてきた課題等について整理し、今後の必要な取り組みを検討する。